

新保交第40号の3
平成21年11月30日

関係者 各位

新潟海上保安部長

「真野湾での荒天避難は危険」の周知について

時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます

平素から海上交通の安全確保につきまして格別のご理解とご協力をいただき感謝申し上げます

さて、佐渡島西岸に位置する真野湾は、水深が浅く、岩礁が散在し、西寄りの風が強く吹くと湾内にうねりが侵入し、また、湾口に大型定置網が設置されていることから、過去に、荒天避難しようとした船舶が、湾口に設置された定置網に乗揚げ又は湾内で錨泊した船舶が、大きなうねりを受けて走錨し座礁するなど、荒天を避難するには危険な海域であります。

このため、新潟海上保安部では、船舶が、新潟県沿岸海域において荒天を避けようとする場合は、両津湾又は赤泊沖で避難するよう指導しています。

しかし、日本海特有の気象海象を理解していない外航船等が、真野湾に避難しようとすることがあるので、真野湾での荒天避難は危険であることを、広く周知するため、別添のパンフレットを作成しました。

つきましては、貴社からも、取扱いの外航船へその旨周知して頂きますようお願いいたします。

担当：新潟海上保安部 交通課安全係
〒950-0072
新潟市中央区竜ヶ島 1-5-4
電話 025-244-1008(直通)
FAX 025-248-1006
(<http://www.kaiho.mlit.go.jp/09kanku/niigata/>)

真野湾での 荒天避難は危険！

過去に多数の船舶が海難に遭遇している！

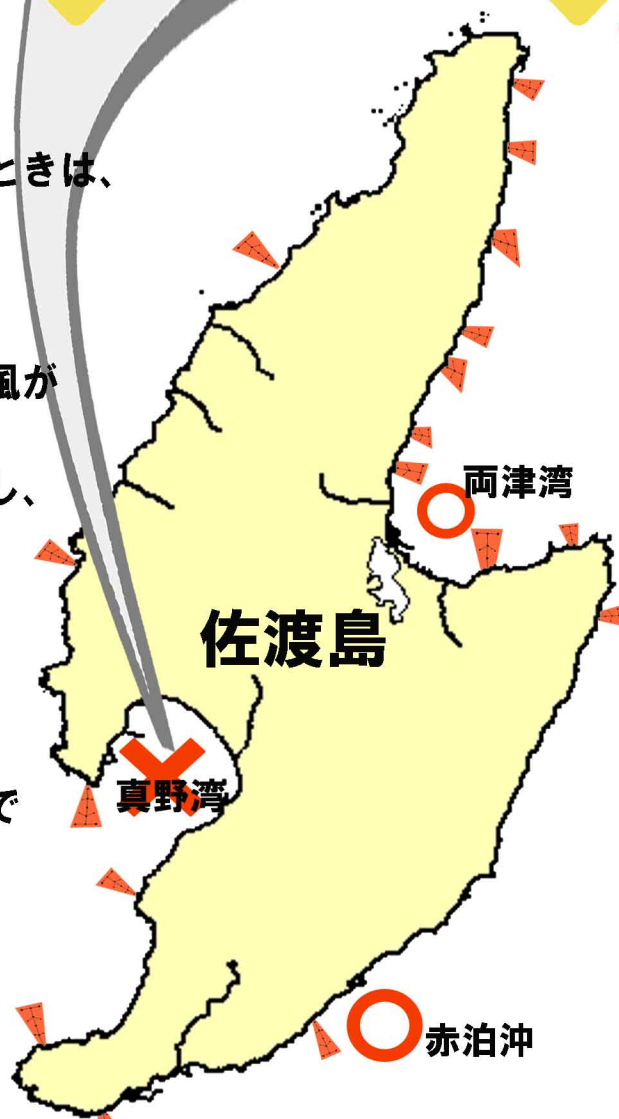
〈理由〉

- 水深が浅く、岩礁が散在
- 西寄りの風が強く吹くとうねりが侵入
- 湾口に大型定置網が敷設
- 台風通過等により風向が急変すると
湾外への脱出困難

• 北西の風が強く吹くときは、
両津湾又は赤泊沖に
避難すること。

• 台風接近等で北東の風が
強く吹くときは、
佐渡島西方海域で漂泊し、
台風通過後、
北西の風に変わる前に
赤泊沖に避難すること。

• 佐渡島周辺には、
漁網が多数存在するので
航行する際は、
十分注意すること。



- 外航船が、荒天避難等で
緊急入域する時は、
国際VHF16chで
「にいがたほあん」
に通報願います。

通報内容：

- ① 船名、船種、船籍
- ② IMO番号
- ③ 総トン数
- ④ 船主の名称及び住所
- ⑤ 運航者の名称及び住所
- ⑥ 船長等の氏名
- ⑦ 代理店の名称及び住所
- ⑧ 通報時の位置
- ⑨ 入域理由及びその位置
- ⑩ 出港地及び寄港地
- ⑪ 積荷の種類及び数量
- ⑫ 呼出符号

